



2006年3月期(第9期)

株式会社ブイ・テクノロジー

決算説明会

日時: 2006年05月19日(金)

場所: 東証ホール

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要因により、見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。



決算概要

連結業績ハイライト（前年同期比）

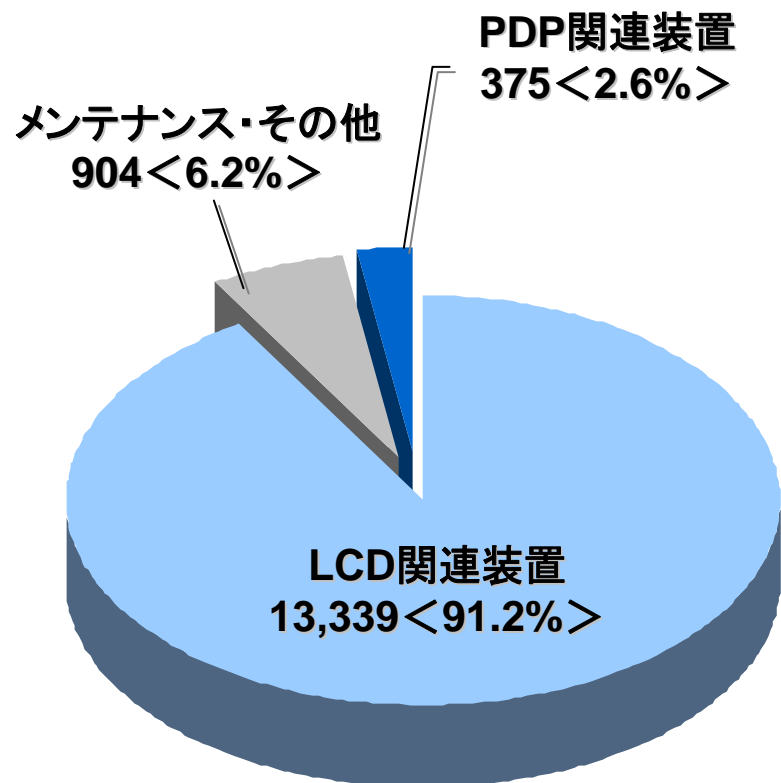
（金額：百万円）

	前期（第8期）		当期（第9期）		増減率 （増減額）
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	10,680	100.0%	14,618	100.0%	36.9%
売上総利益	2,185	20.5%	4,048	27.7%	85.3%
営業利益	508	4.8%	2,170	14.9%	1,662
経常利益	386	3.6%	2,096	14.3%	1,710
当期純利益	846	7.9%	1,251	8.6%	405

■ 計画（2006/2/8発表）

		差分
売上高	14,000	+618
経常利益	1,900	196
当期純利益	1,080	171

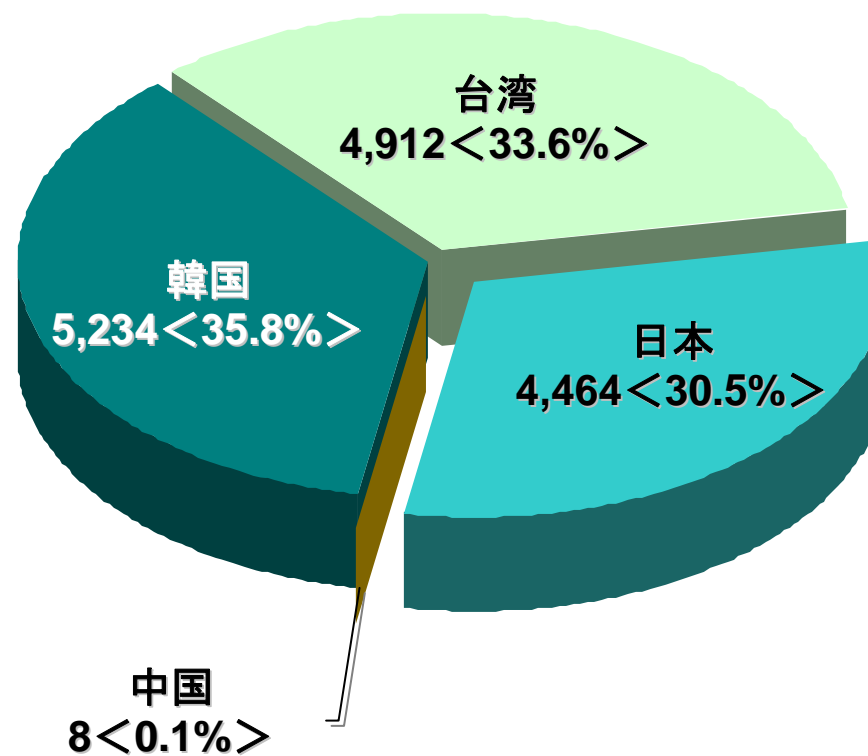
製品別/地域別連結売上高



製品別売上高

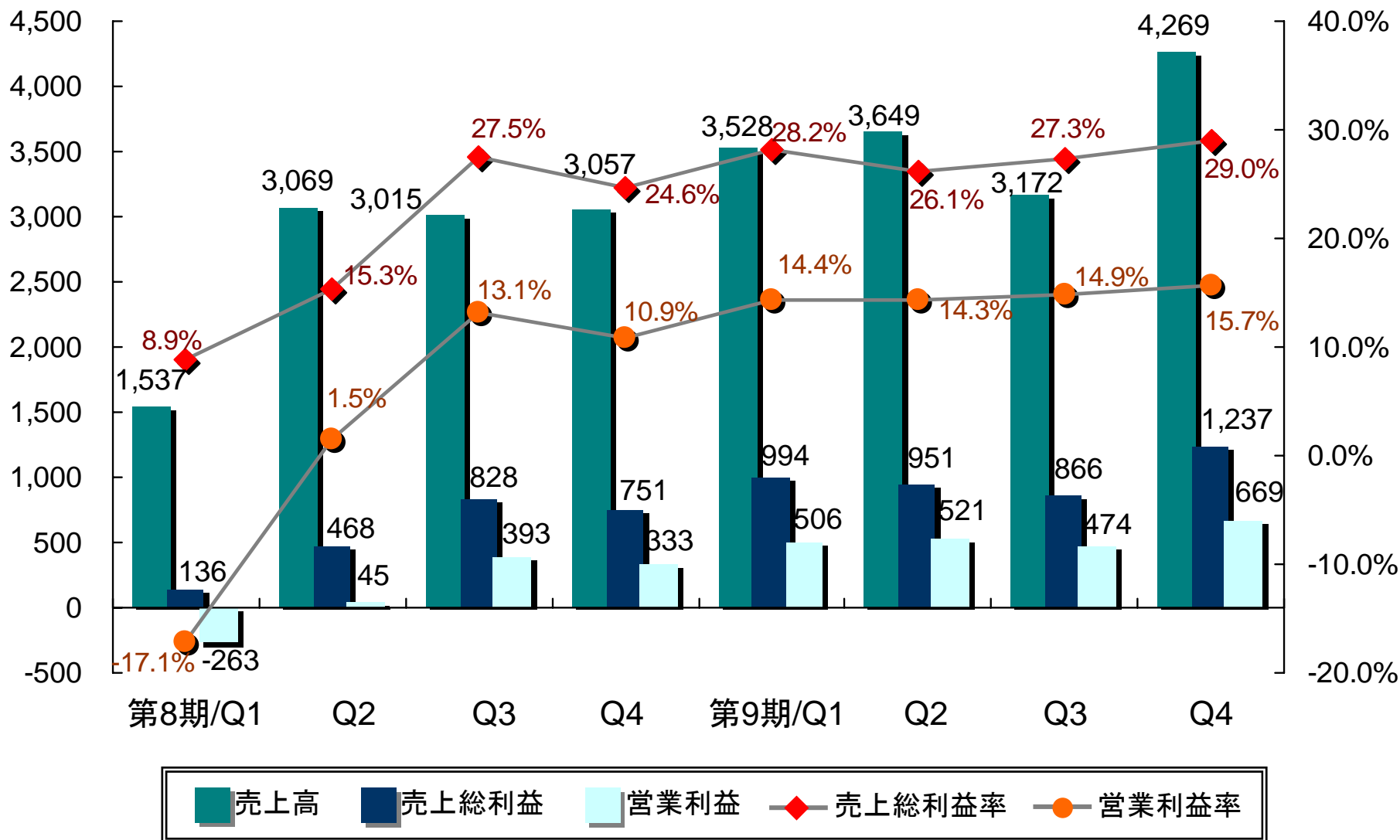
(金額:百万円)

地域別売上高

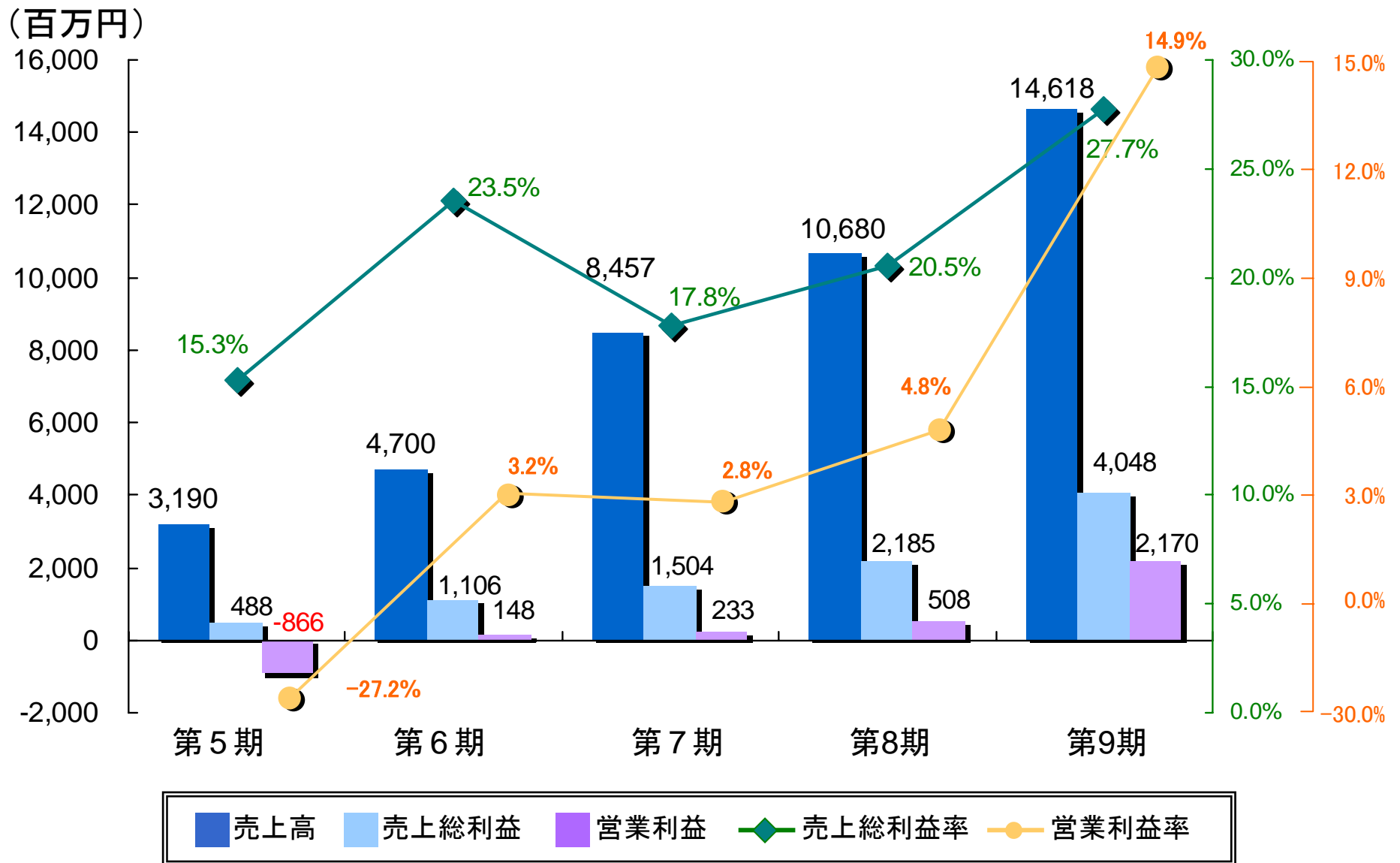


四半期毎連結売上高・利益推移

(百万円)

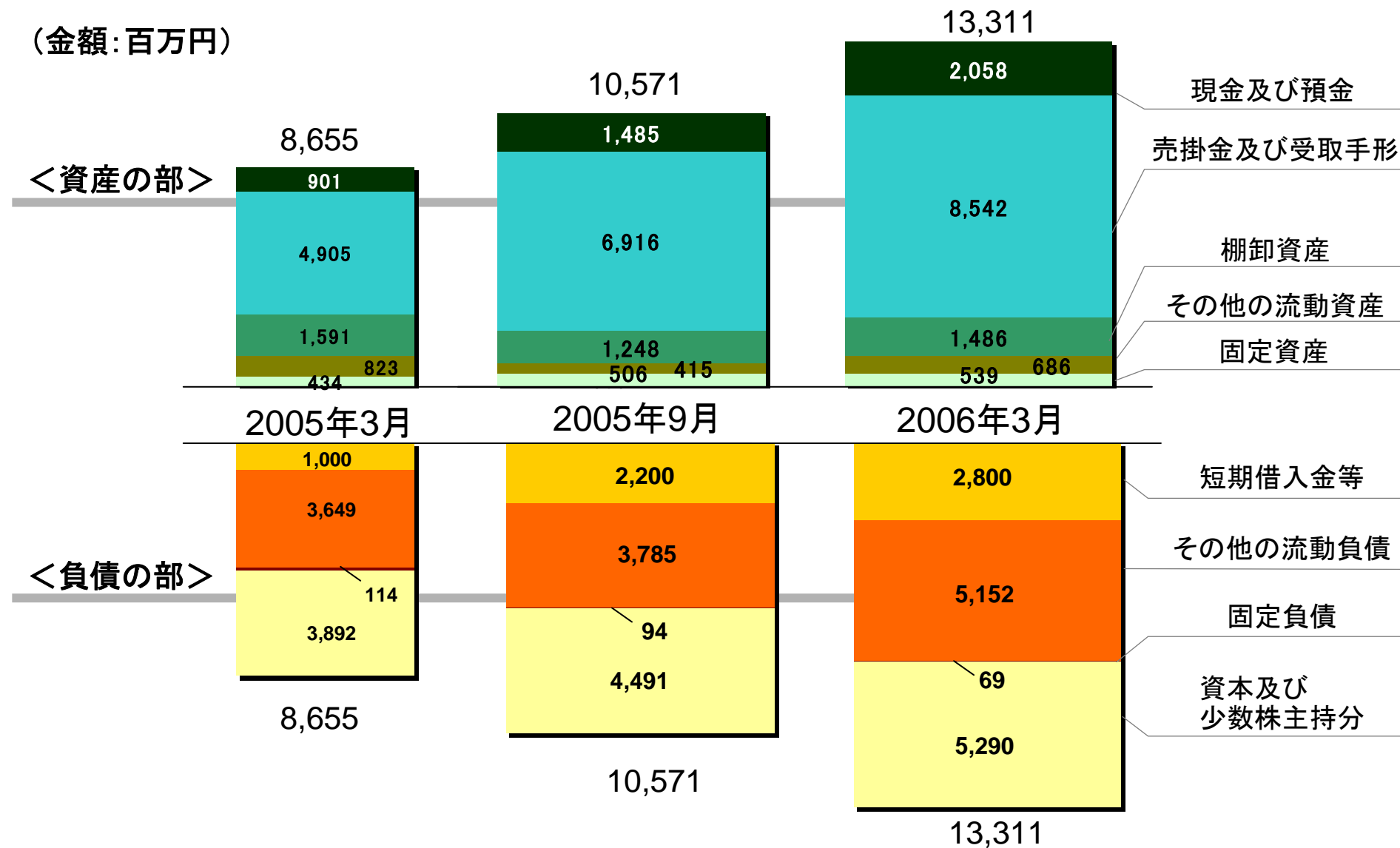


連結売上高・利益推移

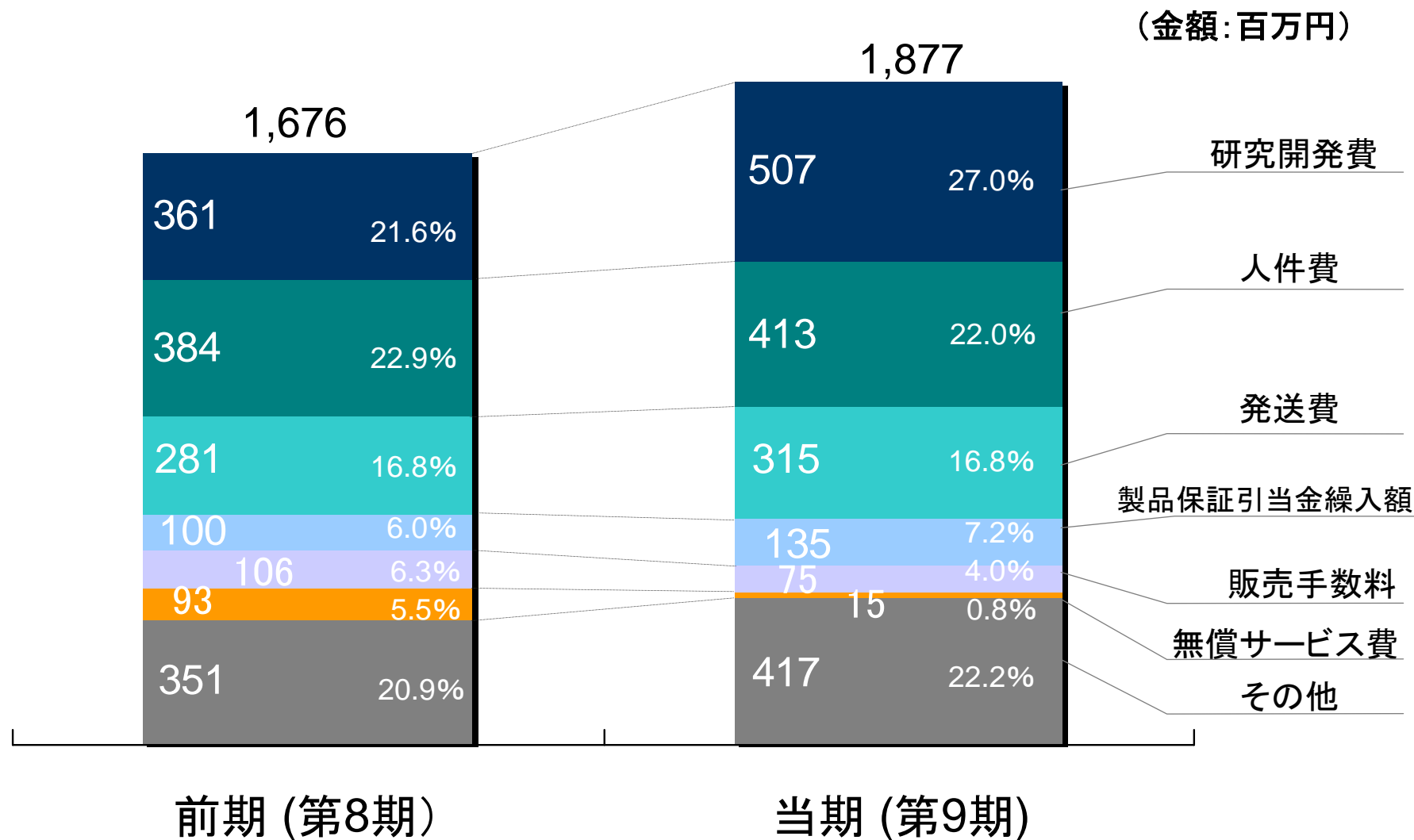


連結貸借対照表

(金額:百万円)



主な販売費及び一般管理費



連結キャッシュフロー

		(金額:百万円)	05/03	06/03
期首現金及び現金同等物残高			422	900
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前純利益		361	2,072
	売上債権 (増加▲)		159	▲ 3,618
	在庫 (増加▲)		▲ 525	107
	仕入債務 (減少▲)		921	749
	その他		29	335
				945
投資活動によるキャッシュ・フロー			▲ 92	▲ 199
財務活動による キャッシュ・フロー	借入		3,000	20,650
	返済		▲ 3,450	▲ 19,087
	その他		77	146
			▲ 373	1,709
換算差額および新規連結による増減額			▲ 2	2
現金及び現金同等物の増減額			478	1,157
期末現金及び現金同等物残高			900	2,058

今期のトピックス

▶ 新規連結子会社の設立

2005年6月に株式会社バイ・イメージング・テクノロジー設立
露光装置の開発・製造・販売を目的

新方式露光装置EGISを開発、受注開始。

▶ 大口受注案件

05/07/01	G8ライン向け検査・修正装置	約15億円
06/01/31	LCD用露光装置・周辺装置	約20億円

今期のトピックス

業績予想の上方修正

	売上高	経常利益	純利益
期初予測	13,250	1,500	900
05/11/02 修正	14,000	1,750	1,035
06/02/08 修正	14,000	1,900	1,080
実績	14,618	2,096	1,251

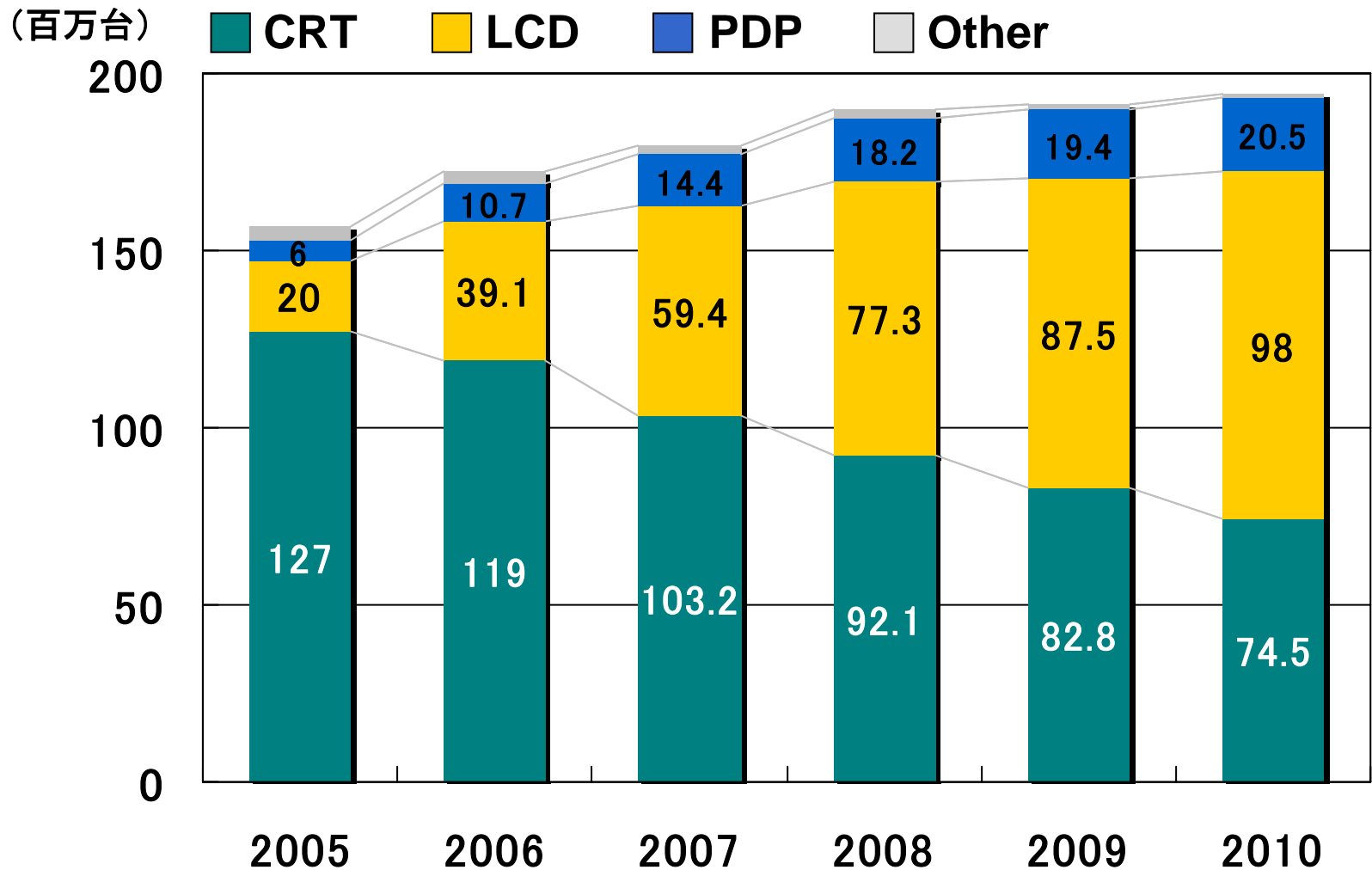
初の配当実施

将来の事業拡大・経営基盤強化のために必要な内部留保の充実をはかりつつ、経営成績に応じた利益還元を行う

2006年3月期1株当たり配当 ➡ 2,500円(配当性向8.9%)

通期業績見通しと 今後の方針について

テレビ市場予測



TV市場全体では2006～2010年平均で約3%、LCDは25%以上の成長と予測。

** ブイ・テクノロジー調べ

主なLCDパネルメーカーの設備投資動向

(検査関連装置設置時期ベース)

<p>2006/04-06 (VTEC10期Q1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ (韓)三星電子 Gen7 Ph2 ■ (韓)LG Philips LCD Gen7.5 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DNP (CF) Gen6 Ph2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (台)AUO Gen7.5 Ph1 ■ (台)CMO Gen5 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (中)SVA-NEC Gen5 Ph2
<p>2006/07-09 (VTEC10期Q2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャープ Gen8 Ph2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 凸版印刷 (CF) Gen8 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (台)AUO Gen6 Ph3 ■ (台)CMO Gen7.5 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (台)QDI Gen6 Ph2 ■ (台)INNOLUX Gen5 Ph2
<p>2006/10-12 (VTEC10期Q3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャープ Gen8 Ph3 ■ (韓)LG Philips LCD Gen5.5 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 凸版印刷 (CF) Gen8 Ph2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (台)AUO Gen7.5 Ph2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (中)Arrow Gen5 Ph1 ■ (中)Concordia Gen5 Ph1
<p>2007/01-03 (VTEC10期Q4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャープ Gen8 Ph3-2 ■ (韓)三星電子 Gen8 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DNP (CF) Gen8 Ph1 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (台)CMO Gen7.5 Ph2 ■ (台)QDI Gen6 Ph3 	

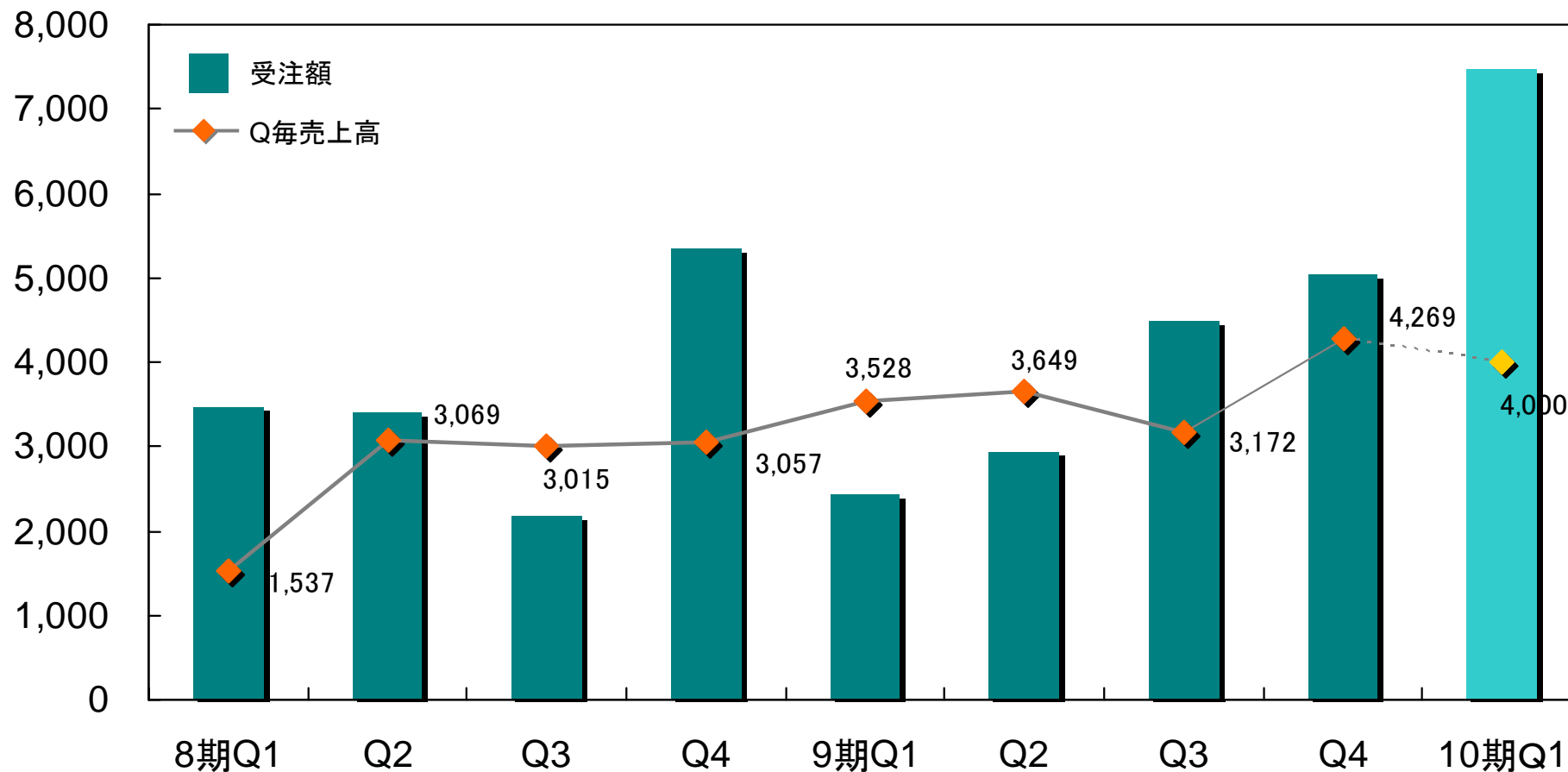
通期連結業績予想

(金額:百万円)

	前期通期 (第9期) 実績		第10期(2007/3)				増減率
			上期予想	下期予想	通期予想		
	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比	
売上高	14,618	100%	9,000	11,000	20,000	100%	36.8%
経常利益	2,096	14.3%	1,300	1,700	3,000	15.0%	43.1%
当期純利益	1,251	8.6%	750	1,050	1,800	9.0%	43.9%

受注額の推移

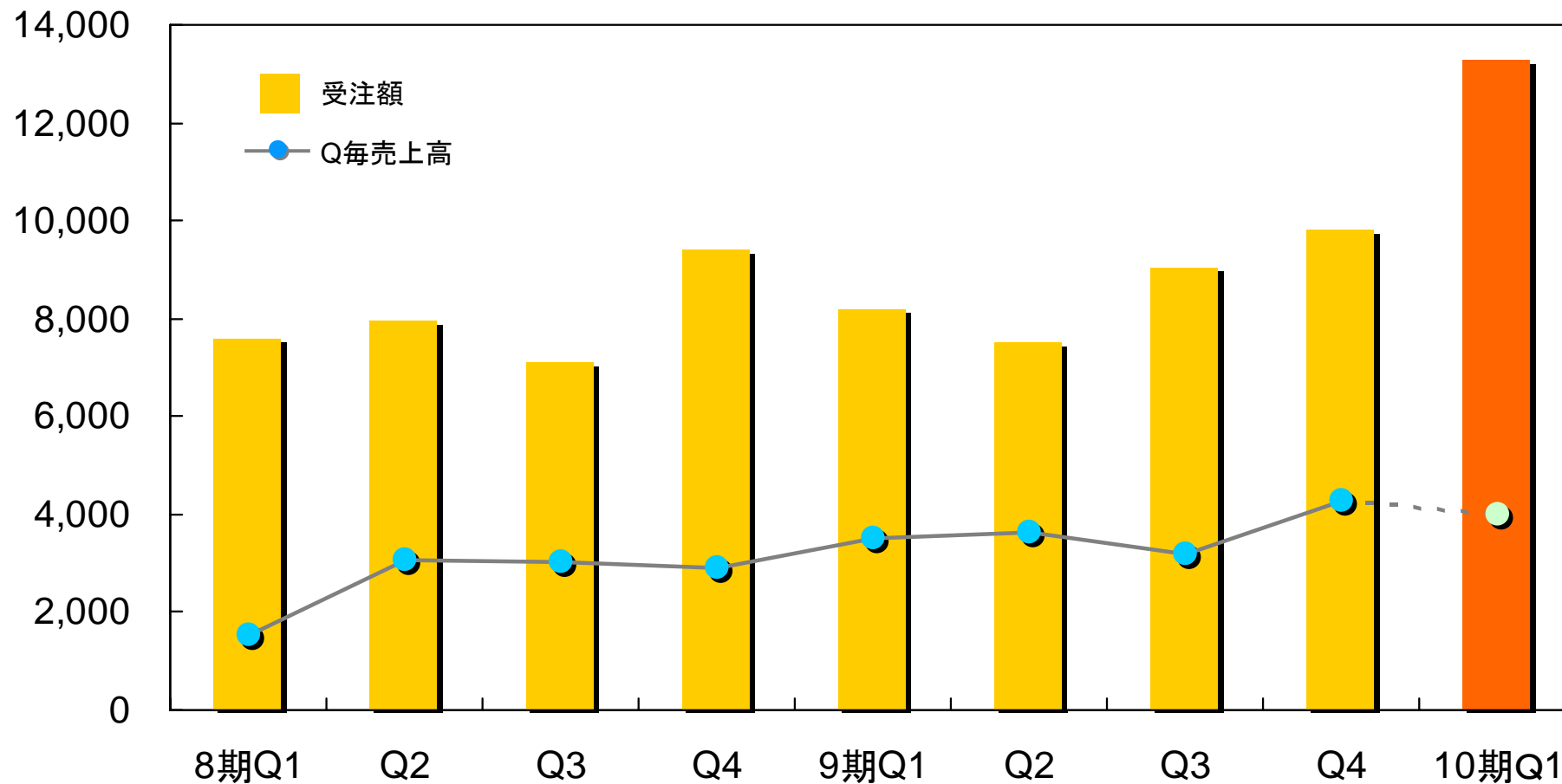
(百万円)



第8期 Q1	Q2	Q3	Q4	第9期 Q1	Q2	Q3	Q4	第10期 Q1(予想)
3,474	3,393	2,184	5,344	2,418	2,940	4,485	5,043	7,473

受注残の推移

(百万円)



第8期 Q1	Q2	Q3	Q4	第9期 Q1	Q2	Q3	Q4	第10期 Q1 (予想)
7,605	7,928	7,097	9,384	8,185	7,515	9,028	9,802	13,275

新装置の開発

基板サイズの大型化



基板上の欠陥発生率はほぼ100%

新製造プロセスの誕生 各装置メーカーからの様々な提案

コスト削減、歩留まり向上



対応する装置の開発

新方式露光装置EGIS
ランニングコストの大幅削減

修正装置Jupiter
CF,TFT,PIの修正が可能

今後の注力製品

▶ 新方式露光装置EGIS

試作機の評価が終了。受注活動へ

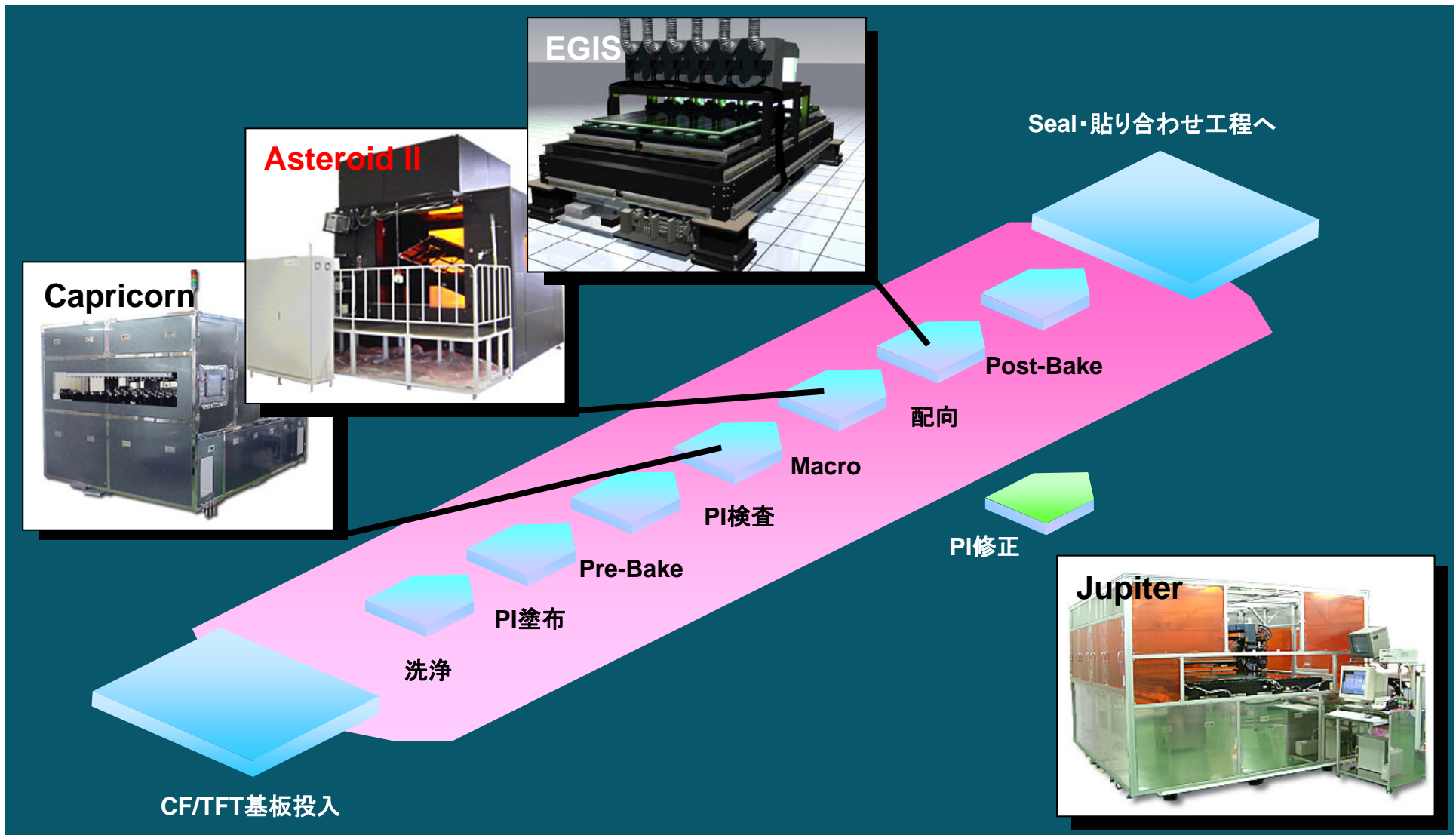
▶ 修正装置Jupiter

既存のCF向け装置に加え、他アプリケーション用装置を開発



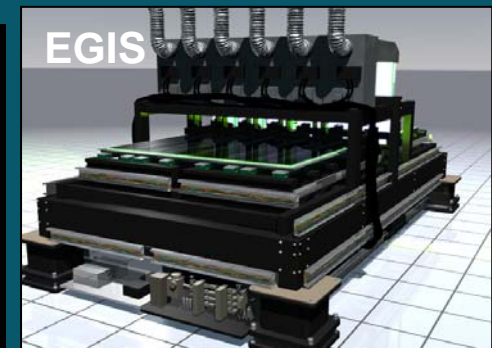
TFT向け修正装置及び、
PI向け修正装置の受注に成功

配向膜検査・修正Line



配向膜検査・修正Line

バイ・テクノロジー提案の配向膜検査・修正Line構成



配向膜検査装置 Capricorn2160PI2-10555R



特長:

- ① Fiber照明による均一照明
- ② 10000Lines/Sec、7500Pix高速CDD採用
- ③ 高密度に配列可能なCamera構造
- ④ 高精度・高速Stage採用
- ⑤ 大型FPGA搭載により高速・多機能な信号処理を実現
- ⑥ Grouping処理によるPI欠陥検出

性能:

- ① 検査Tact: 55sec(2160 x 2460mm)
- ② 検査分解能: 15 μ m(Camera)、25 μ m(走査)
- ③ 検出感度: 95%以上(30 μ m)
- ④ 検出欠陥: PIはじき欠陥、異物・ごみ、Pattern欠陥
- ⑤ 欠陥分類: 明欠陥、暗欠陥、共通欠陥
- ⑥ 欠陥位置: 繰り返し再現性 \pm 200 μ m

配向膜欠陥修正装置 Jupiter-PIR



特長:

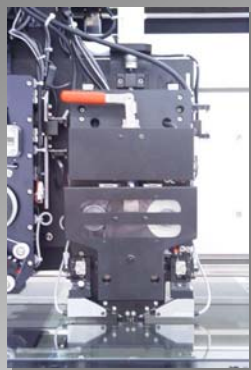
- ① 検査後のReview・修正を一台で実現
- ② 高速・高精度Stage採用(移動速度1600mm/sec)
- ③ 高性能YAG Laser搭載
- ④ 2重管Stamp式Dispenser採用によりPI溶液塗布可能
- ⑤ GUIを駆使した使いやすいSoftware

性能:

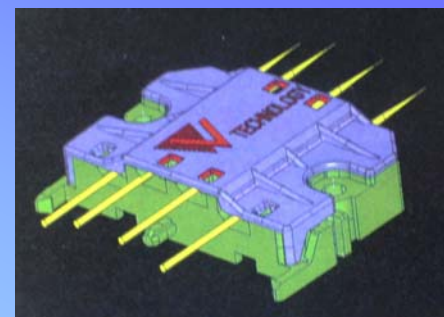
- ① 研磨Repair
 - ・高さ計測 分解能: $0.018 \mu\text{m}$ 再現性: $3\sigma=0.3 \mu\text{m}$
 - ・研磨性能 分解能: $0.1 \mu\text{m}$ 精度: $\pm 0.5 \mu\text{m}$
 - ・修正Tact 約11sec.(一点あたり 条件による)
- ② Laser Repair
 - ・Repair Size $2\sim 150 \mu\text{m}$ 角
 - ・Laser出力 2mJ(532nm時)
- ③ PI溶液塗布Repair
 - ・塗布形状 任意形状が可能(Stamp形成による)
 - ・修正Tact 約12sec(一転写あたり)

- Jupiter - 修正装置機能

Tape Repair機能



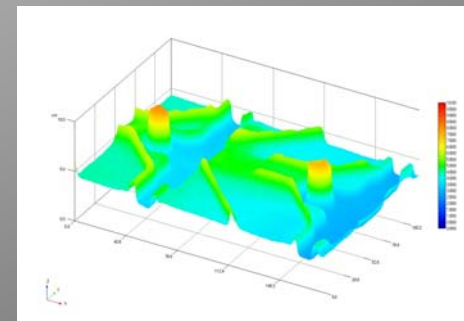
Ink Repair機能



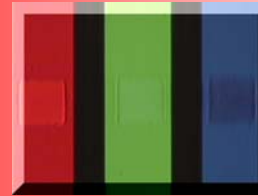
Laser Repair機能



Review機能



マイクロディスプレイペンサによるリペア技術



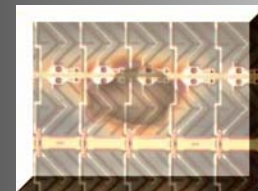
カラーインクによる
CFピンホールリペア



Agペーストによる
TFTオープンリペア



Agペーストによる
Crマスク
ピンホールリペア



PI溶液による
PIピンホールリペア

高繰り返しパルスレーザユニット - Callisto -



高繰り返しパルスレーザーユニット - Callisto -

形式		VL-C30	
波長	RG-type	1064/532nm	5 / 4mJ
	GB-type	532/355nm	3 / 2 mJ
出力 (3mm [□])	RGB-type	1064/532/355nm	4 / 3 / 2 mJ
	GU-type	532/266nm	2 / 1 mJ
方式		内部循環型水冷式 Nd:YAG Laser	
周波数		1～30Hz、シングルショット	
Pulse幅		< 5～7 nsec	
システム構成		レーザー発振器 電源/冷却機 オペレーションパネル	
機能	レーザー出力制御	Hi/Lo ND-filter アッテネータ200ステップ	
	外部I/F	RS-232C	
寸法(mm)	レーザー発振器	154(W) x 115(D) x 349(H) 6kg	
	電源/冷却機	350(W) x 455(D) x 350(H) 28.5kg (冷却水,ケーブル含まず)	
重量	オペレーションパネル	225(W) x 209(D) x 40(H) 2kg	
用力		AC100V 15A	
オプション		外部制御LAN XY-θスリット	

Thanks for your attendance!

<http://www.vtec.co.jp>